令和６年度　第６回　郡山小学校学校運営協議会　議事録

１　日　時　　令和７年２月１４日（金）１９：００～２０：３０
２　場　所　　コンピュータ室
３　あいさつ（学校長、委員長）

〇委員長
・先日はサルの出没情報があったが、大きな被害はなかった。また、県内では交通事故が多発しているので注意が必要。
〇学校長
・年度末で次年度に向け振り返りの時期。学校関係者評価のご検討を。

４　協議内容
（１）郡山小学校の取り組みについて
　⇒教頭より､PP 資料で１月～本日までの学校の取組を紹介
・６年ネット・スマホ教室について、どこが来ているのか。また例年この時期か。
　⇒鈴鹿亀山消費生活センターからの派遣で講師が来ている。時期については決まっているわけではないが、中学生になる前のこの時期に設定した。
・６年生はすでに持っている子もいる。また、家庭用ゲーム機でネットにつなぎ、オンラインゲームでチャット等を通じて様々な人とやり取りができてしまう。もっと早期（時期・学年）からこのような取組を進めていくとよい。
・大人以上に子どもはメディア活用能力は高い。大人の知らないところで子どもはどんどん進んでいく。大人が意識を改革し、もっと知ろうとしないといけない。
（２）学校関係者評価について・・・別紙参照
　⇒教頭から概要説明
　⇒校長より
　　・主体性（学力向上）については、中学校区で「めざす子ども像」を設定し取組を進める
　　・これからの担任の在り方について
　　・スマホ教室の内容について（ネット課金について）
【質疑】
・学校支援ボランティアについて、コロナ禍を契機に学校の在り方が変わり、子どもが子どもを教える場面が増えており、ボランティアに入るものも考え方を変え

なければならない。従来通りのボランティアが教えるスタイルでは、子どもの活動を止めてしまうことになりかねない。

・学校運営協議会の場で評価の検討を行い、次年度への改善点も確認するが、人事異動で校長が変わると学校の雰囲気が変わる。人事異動があってもこれまでの取組は引き継がれるのか。

⇒管理職の異動の際には、引継ぎの中で事務的な事だけでなく学校の取組や方向性等についても引き継ぐ。また、管理職が変わっても基本的な取組が継続されるために学校関係者評価の取組がある。

⇒教職員にも様々な考え方がある中、学校として複線型の授業等に取り組んでいる。以前より授業中に子どもたち同士で話し合ったり教え合ったりする場面は増えている。また意見の共有等 ICT 機器の活用も進んでいる。「書かせることは大切」という意見からアナログ的な活動も進めつつ、しばらくはこのような取組が進む。

⇒教育委員会と連携を図り、市のめざす教育方針に沿った取組を進めているので、基本的に管理職が変わることで大きく方針が変わることはない。

5　報告事項

・土曜授業、来年度委員の推薦等について連絡

6　その他

・令和 6 年度末および 7 年度当初の予定について確認

・令和 7 年度学校運営協議会日程についての確認